

クリッカーとしての活用

1. クリッカーとは

双方向授業または学生参加型授業のツールで、受講者からその場で回答を得て、授業に反映させます。主には、理解度チェック（小テスト）として用いられます。

2. UNIVERSAL PASSPORT の小テスト機能をクリッカーとして用いる

お手持ちの PC で学内ランを使えるように設定すれば、UNIVERSAL PASSPORT のクラスプロファイルの小テスト機能を活用することで、クリッカーとして用いることができます。

①小テストの作成

UNIVERSAL PASSPORT（以下、「UNIPA」という）の小テスト機能で、小テストを作成しておきます。その際、授業終了前に一括して集計する場合は、授業開始後の時間（例えば開始 20 分後の時間）から授業終了前の時間（例えば終了 20 分前の時間）に設定します。授業内の任意の時間に小テストを行いたいときは、授業後の時間で仮に設定しておきます。

※小テストの作成と実施については、UNIPA の学内システムリンクの「クラスプロファイルガイド」を参照してください。

②小テストの実施

授業内の任意の時間に小テストを行う場合は、設定した小テストの開始日時と終了日時を指定し直して保存し、実行します。

③集計結果の参照

小テストの実施終了後に、クラスプロファイルの「小テストの作成」をクリックすると 授業履修学生と採点結果が表示されます。詳しい情報を表示するには、小テストのタイトル（小テスト作成時に設定した「略称」）をクリックします。

「集計結果」タブでは、得点分布と選択肢の選択状況をグラフで確認することができます。受講者の理解度を把握し、授業の補足を行うことができます。

なお、「解答者一覧」タブでは、各学生の得点、解答回数、解答時間などが一覧で表示されます。「表示」をクリックすると回答内容を確認することができます。